

自然ふれあい講座 報告

霧ヶ峰草原の移り変わりを探る

10月14日(日) 10:00~15:00 参加者:16名

霧ヶ峰高原のすばらしい草原景観は、自然のほか、地域の伝統的な暮らしのなかでの採草地としての利用など、人の働きかけがあることによって長い間保たれてきました。その霧ヶ峰草原では、現在、草原の森林化やシカによる草原植物の食害など、草原の変化が危惧されるようになっていきます。今回の講座では、環境保全研究所が実施した霧ヶ峰草原での調査結果もまじえながら、旧版地形図や空中写真等の情報を用いて、霧ヶ峰の移り変わりについて霧ヶ峰自然保護センターで体験学習を行いました。とくに、霧ヶ峰草原の広がりについては、地形図の細かな記号を虫眼鏡をつかって読み取り、明治43年・昭和37年・平成14年の霧ヶ峰草原の分布図を実際に作成し、草原の縮小や断片化を確認しました。



戦後の空中写真を見比べる

改めて、霧ヶ峰草原の移り変わりつつある現状を実感していただけたのではないかと思います。

(尾関雅章・須賀 丈 kanken-shizen@pref.nagano.jp)

変わりゆく里山の暮らし

12月1日(土) 13:00~15:30 参加者:21名

今回の講座は、一昨年度まで実施してきた里山研究の重点調査地域の一つであった中条村の御山里地区にある公民館をお借りして開催しました。まず、中条村での調査結果を紹介しながら、ここ数十年の間に大きく変化してきた里山での暮らしや土地利用の変化について学習し、里山の魅力と環境保全について考えました。その後で参加されたみなさんと意見交換をしましたが、地元の方だけでなく、村外から参加された方からも多くの意見を出していただきました。この地域の良さを発信し村外の人との交流が必要との意見をはじめ、大きく広がった耕作放棄地を逆にチャンスととらえて観光に生かすユニークな案など、地域の活性化と環境保全に向けて活発な議論が交わされ、参加者のみなさんも大いに刺激を受けられたようでした。



調査報告の様子

今回開催するにあたり、区長さんをはじめ地元の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

(畑中健一郎・浦山佳恵・富樫 均 kanken-junkan@pref.nagano.jp)

報告

長野県精度管理調査を実施しました

県内の測定分析機関を対象に、昨年に引き続き精度管理調査を実施しました。細菌は、毒素原性大腸菌の同定と菌数の測定を、食品は着色料(食用赤色3号及び食用赤色105号)を、医薬品はベルベリンを、環境関係では、模擬環境水中のカドミウム及び全窒素を対象項目としました。

2月5日(火)に参加機関からの報告をまとめて検討会を開催しました。また、この検討会に合わせて、最近話題になった光化学オキシダントについて特別講演「光化学オキシダントー最近の動向と今後についてー」を実施し、会場がいっぱいになるほど大勢の方に参加していただきました。今後とも本精度管理調査へのご協力をお願いいたします。

(企画情報課 kanken@pref.nagano.jp)

報告

公開セミナーを開催しました

須坂市と上田市で研究所の日頃の研究成果に基づく公開セミナーを開催し、多くの方のご参加をいただきました(両会場あわせて171名)。ありがとうございました。

今年は「信州の環境に今起きていること」というテーマで、ポスター展示と2部構成の研究成果報告をおこないました。ポスター展示では、研究所の事業や研究成果をポスターにし、その前で職員が解説をしたり質問に答えたりしました。研究成果報告は、須坂会場では「身近な自然の過去と現在」、「千曲川の生き物をめぐって」、上田会場では「わたしたちの暮らしと大気」、「変わりゆく生き物たち」をテーマとし、各3題ずつ報告をおこないました。ポスター展示とあわせて、さまざまなご質問やご意見をいただきました。これらの意見を今後の研究所の活動に積極的に活かしてまいりたいと考えております。

須坂市 会場

日時：2月2日(土) 12:00~16:00

場所：須坂市公民館

参加者：60名

プログラム:

- ポスター展示 12:00~
- 研究成果報告 13:10~15:20

1部 身近な自然の過去と現在

1. 里山の変化
- 矢筒山の100年からみえるもの(富樫 均)
2. バイオマス資源の需給バランスと利用の課題
(畑中健一郎)
3. スギ花粉の飛散状況の経年変化 (畔上由佳)

2部 千曲川の生き物をめぐって

4. 特定外来生物(植物4種)の分布状況(前河正昭)
5. カワウ、アオサギなど魚食性水鳥類の分布拡大
(堀田昌伸)
6. ウケクチウグイの生息-16年ぶりの確認
(北野 聡)



研究所の紹介



研究成果の報告



ポスター展示



意見交換会

上田市 会場

日時：2月9日(土) 12:00~16:00

場所：上田市塩田公民館

参加者：111名

プログラム:

- ポスター展示 12:00~
- 研究成果報告 13:10~15:20

1部 わたしたちの暮らしと大気

1. 地球温暖化-長野県ではどうなっているか?
(浜田 崇)
2. 光化学オキシダントの広域移動 (兒玉家起)
3. 上田の街が暑い!
- 都市のヒートアイランド現象(浜田 崇)

2部 変わりゆく生き物たち

4. 千曲川で見つかった外来植物オオカワジシャ
(大塚孝一)
5. 希少植物タデスミレ(蓼葎)の生息状況
(尾関雅章)
6. オオルリシジミと「野」の虫たちの保全
(須賀 丈)



ポスターの解説



研究成果の報告



報告後の質疑応答



質問に答える職員